

令和6年度 京築教育事務所 学力向上プラン

日常的・組織的な「授業改善」による学力向上
個別の学力課題解決に直結した「授業改善」による学力向上

■ 視点1-② 《令和6年度 全国学力・学習状況調査における目標》

《令和6年度 全国学力調査目標値》

R 6 小6		R 6 中3	
国語	算数	国語	数学
101.2	101.4	98.3	95.9

令和6年度 児童生徒質問紙において、全国平均以上を目指す項目

自分には、よいところがある。	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。【主体性】	家で自分で計画を立てて勉強をしている。
学校に行くのは楽しいと思う。	話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていた。【対話性】	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上勉強している。
自分と違う意見について考えるのは楽しい。	学習した内容について、分かったことやよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた。【自己調整】	

■ 視点5

【家庭・関係機関との連携】

◇家庭学習の組織的な取組

- ・学力課題に応じた組織的な取組
- ・自主学習の内容、方法、様式の検討（目標設定、計画表、振り返り等）
- ・学び方のオリエンテーションの実施
- ・ICTの効果的活用（自己の進捗に応じた課題設定、ドリル学習、スタディ・ログ等の活用）

■ 視点2

【授業づくり】

◇自校の学力課題解決に直結する授業改善

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた授業改善
- ・学力層の分析に基づく授業づくり《各層に対応する児童生徒への指導の充実》
- ・「学力向上虎の巻」を活用した授業改善

※「学力向上虎の巻」活用リーフレット参照

◇目指す資質能力の確実な定着を図る指導の充実《「誰一人取り残さない」指導》

- ・単元末、年度末等の到達度テストの実施
- ・到達度テスト結果に応じた定着を図る指導の充実

◇ICTの効果的な活用《指導の個別化、学習の個性化への支援》

- ・各教科の資質能力を確実に身に付けるためのICTの効果的活用

■ 視点4

【教員の意識・指導力の向上】

◇実効性のある検証改善サイクルの確立【組織的な取組を推進する手立て】

- ・学力課題の全教職員による共有と重点化
- ・目標の共通理解の場の設定
- ・検証改善ロードマップの作成
- ・進捗状況の可視化と検証
- ・全教職員による改善策の検討

◇授業評価の導入

- ・「授業チェックリスト」（教師用・児童生徒用）、各種学力・学習状況調査を活用した取組や指標の設定

■ 視点3

【学力基盤づくり】

◇補充学習・確認テスト・反復練習等の工夫

- ・基礎・基本の確実な定着に向けた「わかるまで」「できるまで」螺旋的・反復的に繰り返す学習の実施

◇非認知的能力等の育成

- ・児童生徒が学ぶ楽しさや成長の実感をもつことができるような活動の充実と適切な評価（目標設定、振り返り等）

<ミニ虎デジタル版の活用（算数・数学、国語、理科）>

■ 視点1-①

◇ 児童生徒の学力層（四分位層）に着目した課題分析【各学力層に占める児童生徒数の割合や同一集団の変化をもとに、実態に応じた課題を明らかにする。】

《令和5年度福岡県学力調査、全国学力・学習状況調査から明らかになった課題》

令和5年度 福岡県学力調査 標準化得点と四分位層

R 5 小5	
国語	算数
97.0	96.9
R 5 中2	
国語	数学
94.2	91.7

令和5年度 児童生徒質問紙から明らかになった課題【学びに向かう力・人間性等】（数値は全国比）

自分には、よいところがある。	-4.0 -4.2	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。【主体性】	-4.3 -1.6	家で自分で計画を立てて勉強をしている。	-1.8 -3.6
学校に行くのは楽しいと思う。	+1.5 -1.8	話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていた。【対話性】	-1.6 -1.4	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上勉強している。	-3.9 -8.8
自分と違う意見について考えるのは楽しい。	-1.0 -3.6	学習した内容について、分かったことやよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた。【自己調整】	-1.6 +1.4	※ 白セルは小学校、黄色セルは中学校 赤字は、全国平均以下の項目	